

■アサガオ

アサガオは建設工事中に於ける落下物を防ぐ為、足場から跳ね出して設ける養生設備である。

取付の注意事項

- イ、高さ10M以上では1段以上、高さ20M以上では2段以上設ける、一般には高さ4～5Mの箇所には一段目を設け、2段目以降は下段のアサガオから10mより低い間隔に設けることが望ましいとされている。
- ロ、突出し長さ（水平距離）は2m以上とし、水平面に対する傾きは20°以上とすること。
- ハ、朝顔の1.8mスパン当りの自重は約100kgあり、建柱に偏心荷重がかかる為、支持棧取付け箇所に壁つなぎを設ける。

部材

アサガオ(主材) A-2350 	バンノー受L型 A-2006 A 	バンノー押え A-2006 B
フレ止め A-2306 C 	バンノー受C型 A-2006 D 	アサガオバンノー B-2350

アサガオ主材は、全スパンに於いては1本数量を増加します。

規 格

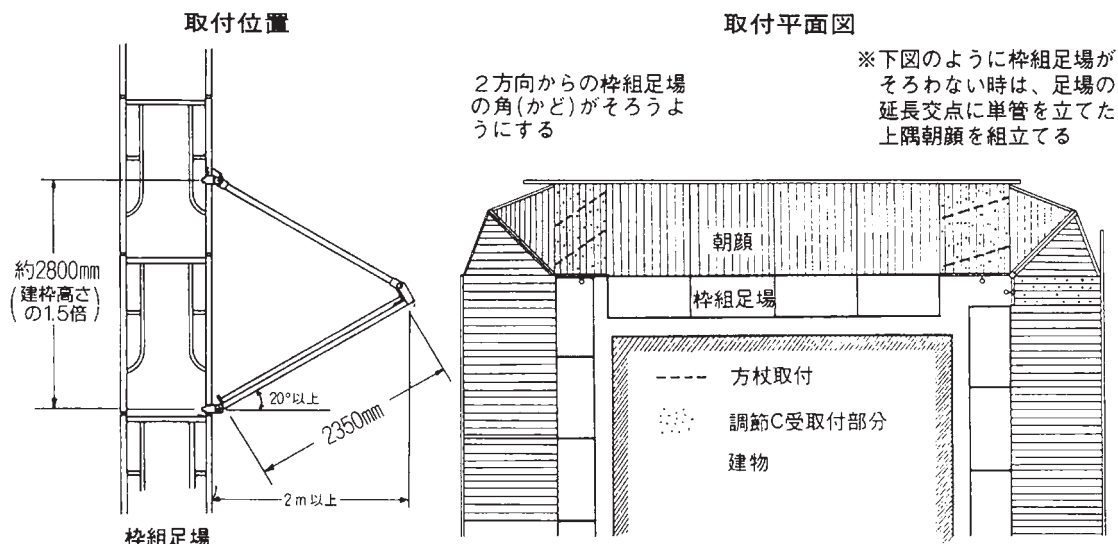
1. 1.6×300×ℓ ℓ = 2350
2. 亜鉛メッキ仕上げ
3. 1枚当りの重量12.2kg



落下衝撃に対する安全性(試験結果は下表の通りで耐衝撃性に優れています。)

	バンノーシート	デッキプレート	木 材 (板)
厚×幅×長	1.2mm×300mm×2.0m 1.2mm×600mm×2.0m	1.2mm×600mm×2.0m	
落 下 物	L75×75×6×1.5m, 10.2kg 鋼管 48.6mmφ×4.5尺, 3.6kg 鋼管 48.6mmφ×9 尺, 7.2kg コンクリートブロック 12.0kg	同 左	同 左
落 差	11.5m	同 左	同 左
角 度	 両端固定	同 左	同 左
結 果	凹のみで貫通しない。	貫通した。	デッキプレートより貫通が甚だしい。

アサガオ（構成図・部材）

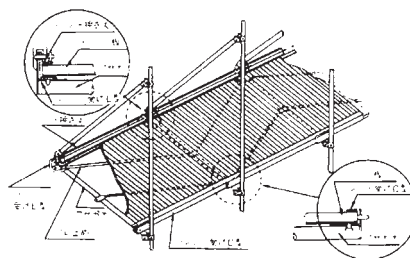


アサガオ

- アサガオの設置高さは、高さ10m以上では1段以上、高さ20m以上では2段以上設ける。一般には、高さ4～5mの箇所に1段目を設け、2段目以降は、下段のアサガオから10mより低い間隔に設けることが望ましい。
- アサガオの突き出し長さ（水平距離）は2m以上とし、水平面に対する傾きは20°以上とする。

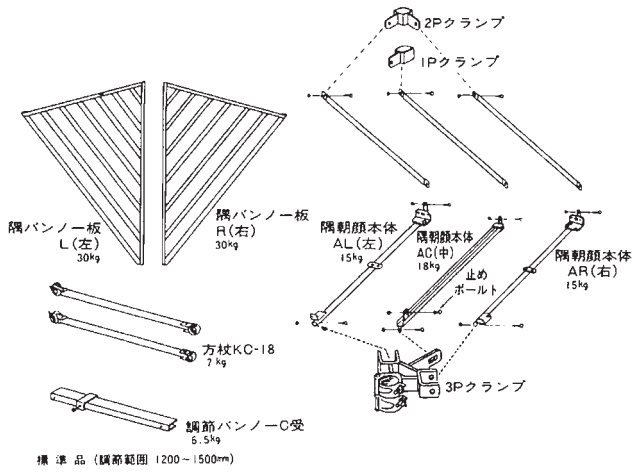
単管足場に使用される場合

- 建地のスパンを1.829mとってください。取付クランプは兼用クランプとなっております。



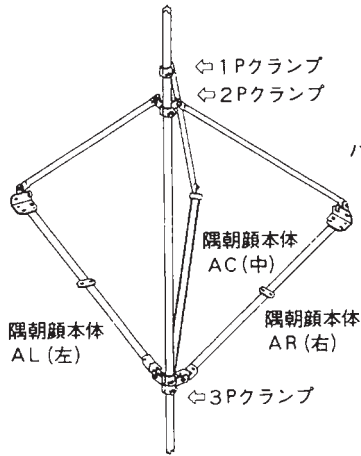
品番	品名	形状・寸法	重量	1スパン当数量(1.829m)
A2350	アサガオ		15.6kg	○1スパン単独の場合2本 ○連続する場合はスパン数+1本
A2006A	バンノー受け L型		5.26kg	1本
A2006B	バンノー 押さえ		3.8kg	1本
A2006D	バンノー受け C型		5.8kg	1本
A2306C	フレ止め		2.1kg	2本
BB623	バンノー板		12.2kg	6.1枚

隅アサガオ（構成図・部材）



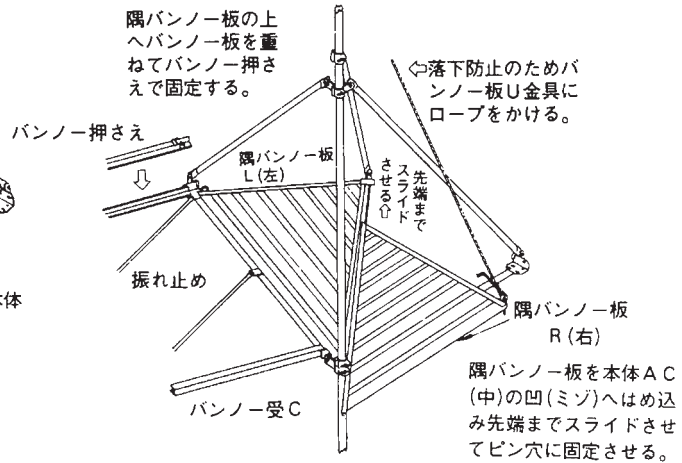
品番	品名	重量kg
L	隅バンノー板 (左)	30.0
R	隅バンノー板 (右)	30.0
AL	隅アサガオ本体 (左)	15.0
AC	隅アサガオ本体 (中)	18.0
AR	隅アサガオ本体 (右)	15.0
1P	1 P ク ラ ンプ	0.6
2P	2 P ク ラ ンプ	1.0
3P	3 P ク ラ ンプ	1.4
KC18	方 杖	7.0
C	調 節 バ ン ノ ー C 受	6.5

1



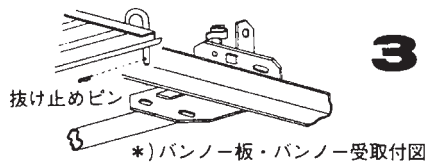
1P・2P及び3Pクランプを建柱に取り付ける。
次に隅朝顔本体AL(左)・AC(中)・AR(右)を
各クランプにボールナットで取り付けます。

2

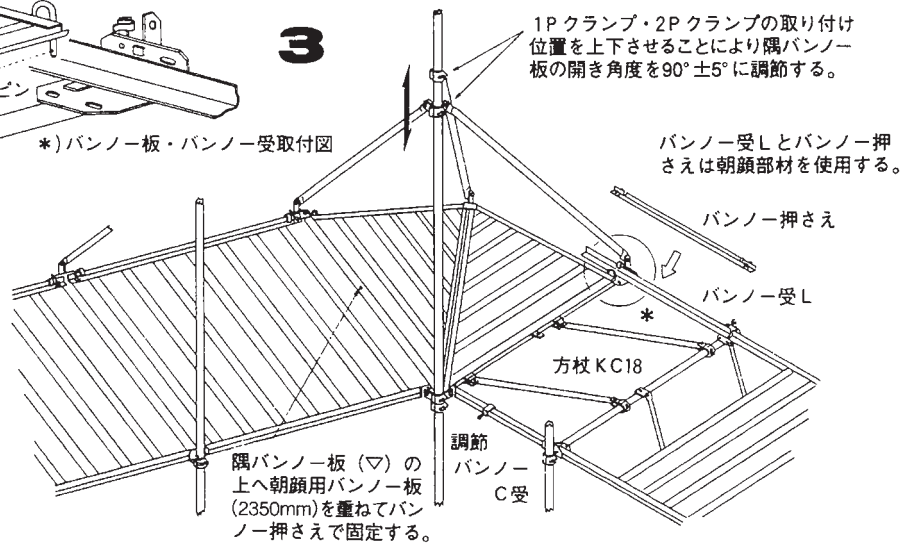


朝顔振れ止めで隅朝顔本体AL(左)又はAR(右)
を固定した後、隅バンノー板をスライドさせて
ピン穴に固定する。

隅バンノー板



3



調節バンノーC受使用空間は方杖KC18を2本取り付け振れ止めの働きをさせる。